



鹿児島を強く、豊かに。

高市早苗  
第29代自民党総裁

自由民主党 衆議院議員

みやじ拓馬

発行：令和8年1月5日(月)自由民主党鹿児島県第一選挙区支部 新屋敷町16-422

## 「外交」から「国会の中核」へ。「強く豊かな日本」を創るために、新たな舞台で汗をかく。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。2026年の新春を迎え、皆様の健やかなる一年を心よりお祈り申し上げます。

昨年は戦後最も激動する国際情勢下で、外務副大臣として世界10カ国を訪問するとともに、国内外で130回を超える海外要人との会談を重ね、我が国の平和と安全、そして日本の国益を守り抜くべく尽力してきました。この得難い経験は、私の政治家としての確かな、揺るぎない「背骨」となりました。そして、現在は高市新総理のもと、国会運営の要である「議院運営委員会理事」および「国対副委員長」として、国内政治の安定に全力を注いでいます。外交も防衛も、すべては国会での合意形成があってこそ。外交で得た広い視野を内政に活かし、「言論の府」の最前線で、国益を守り、愛する郷土・鹿児島の未来を拓くため、泥臭く実直に、結果を出し続けてまいります！



## 難局の国会運営をリード！「強い経済」をつくる予算が成立。皆様の声を国の中核へ！

外務副大臣退任後、外交のような華やかな舞台ではありませんが、国会を動かす「エンジンルーム」とも言うべき議院運営委員会の理事、そして国会対策委員会の副委員長を拝命しました。かつてない厳しい国会情勢の中、野党との粘り強い交渉や審議日程の調整に奔走しています。地道で骨の折れる「裏方」の仕事ですが、「国対」が止まれば国会審議が止まります。この汗にまみれる調整の末に、皆様にお届けができる施策が、裏面にご紹介する高市政権の『実績』の数々です。皆様の暮らしを守り、「強い経済」をつくる予算や法案を、一つひとつ成立へと導きました。政治の役割は、不安を煽ることではなく、結果で安心を届けること。46歳、働き盛りの責任世代として、この「実行力」を日本、そして鹿児島の経済活性化に全力で還元してまいります！



# 日本列島を、 強く豊かに。

## 「強い経済」を実現する総合経済対策

急速な物価高は、多くのご家庭の暮らしを直撃してきました。自民党は、暮らしを守ることを最優先に、ガソリンや電気・ガスなど毎日の生活に欠かせない負担を確実に下げる対策を、拡大しています。本来は来年度から予定していた支援も、できるものから前倒しで実施。物価高を乗り越えて、不安を希望に変える「強い経済」へと日本を導きます。



### [ 家計支援の主な内容 ]



2026年4月

自動車取得時にかかる  
環境性能割も廃止!



### [ 支援総額の例 ]

4人家族  
(父・母・高校生以下の子ども2人)

物価高対策 約9万円 + 所得税減税 約3~6万円

2人家族  
(夫・妻)

物価高対策 約3.5万円 + 所得税減税 約3~6万円

### 【生活者支援】重点支援地方交付金

#### A 【生活者支援】重点支援地方交付金

国が用意した支援メニューを活かして、  
自治体が地域ごとに  
必要な生活者支援をお届けします。



さらに 2026年4月より  
いわゆる高校授業料無償化・  
学校給食費の抜本的な  
負担軽減\*を実現! \*公立の小学校

例えば

#### 特別 加算

#### 食料品支援

プレミアム商品券、電子クーポン、地域ポイント、お米券など

#### 子育て世帯支援

小中学校等の給食費支援、ひとり親世帯への給付金等の支援、  
子ども食堂支援など

#### 消費下支え生活者支援

LPガス・灯油支援、水道料金の減免、プレミアム商品券など

#### 省エネ家電買い替え支援

高効率エアコン・給湯器など

#### 低所得者世帯・高齢者世帯への支援

電気・ガス・LPガス・灯油・水道料金など

支援